

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和4年度】

主管課名(担当名)	図書館(奉仕担当)		
事務事業名	図書館図書整備事業	事業番号	180
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-7 生涯学習活動の推進
	施策目標	市民が生涯にわたって学び豊かな心を育むことができるまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	全市民
	対象者の今後の予想	人口減により減少傾向
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	全世帯の市民利用に対応するため、児童書・一般図書・郷土資料等の蔵書更新とこれに伴う除籍作業。	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	「市民の本棚」として役立つ、新鮮で深みのある魅力的な蔵書の整備充実を図り、市民が多様な本に触れ、生活の潤いと教養を高め、人生の充実を促す。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
		H30	R1	R2	R3	R4		
1 市民一人当たりの蔵書数	5.72冊	6.23冊	6.57冊	6.88冊	7.14冊	7.45冊	5.85冊	6.0冊
2 図書資料貸出件数	28,786件	26,327件	24,783件	22,895件	20,492件	22,245件	28,800件	28,850件
3								
4								
事業費(=下記内訳計)				R4予算		R4決算		R5予算
				7,000		7,000		7,000
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他			7,000	7,000	7,000	7,000	
	一般財源			0	0	0	0	
人員(人工)				0.10	0.10	0.10	0.10	
職員人件費		(=人員(人工)× 7,513 千円)	751	751	751	751		
総事業費(=事業費+職員人件費)				7,751	7,751	7,751		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				1,040	1,040			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				0.35	0.35			

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	「ふるさと応援基金」を活用して現段階で予算を増額を求め、学校図書館巡回図書の実充を目指して、蔵書更新を行っている。
今後の動向・市民ニーズなど	最もリクエストや利用の多い新刊図書や児童書の購入希望、水産漁業等産業図書や専門書、根室の関係・北方領土関係等郷土資料への期待が大きく、恒久的な資料拡充の要望が多い。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	「ふるさと応援基金」を有効活用し、図書購入費が維持され、市民一人当たりの蔵書がさらに伸びている。
	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	市民の学ぶ権利を保障し、市民が利用する生涯学習施設としてすべての世代を対象とした資料提供及び多様な図書館サービスに円満な取組みを継続するためには、市以外は困難である。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	幅広い市民の要望を踏まえ、今後も「市民の本棚」として資料のさらなる充実を図っていく。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	現状においては「ふるさと応援基金」を有効活用し、市民ニーズに沿った図書資料の充実を図っていく。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	図書館図書整備は独自の性格上、他の事業との統合の可能性はない。
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	図書館無料の原則から、受益者に負担を求めることはない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和5年11月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和4年度】

主管課名(担当名)	図書館(管理担当)		
事務事業名	図書館整備事業	事業番号	12052
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-7 生涯学習活動の推進
	施策目標	市民が生涯にわたって学び豊かな心を育むことができるまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	利用者(市民他)
	対象者の今後の予想	人口減により減少傾向
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	利用者が安心・安全・快適に利用することが可能な利便性の高い生涯学習施設として、図書館の施設環境整備を図る。	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	市民の生涯学習施設として、安心・安全・快適な施設環境整備を図ることにより、多様化する市民ニーズに対し、迅速に対応できる情報学習拠点としての役割を果たす。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(R2)	目標値(R7)	
		H30	R1	R2	R3	R4			
1 図書館利用人数	59,500人	53,396人	47,499人	33,652人	29,714人	36,976人	59,500人	59,500人	
2 インターネットサービス利用件数	520,000件	681,404件	829,463件	873,397件	896,687件	1,097,336件	520,000件	520,000件	
3									
4									
事業費(=下記内訳計)				R4予算		R4決算		R5予算	
				25,255		24,585		11,871	
内訳	国道支出金								
	地方債								
	その他			11,300		11,300			
	一般財源			13,955		13,285		11,871	
人員(人工)				0.40		0.40		0.40	
職員人件費(=人員(人工)×7,513千円)				3,005		3,005		3,005	
総事業費(=事業費+職員人件費)				28,260		27,590		14,876	
単位コスト実績値1(=総事業費÷成果実績値)				0.76		0.75			
単位コスト実績値2(=総事業費÷成果実績値)				0.02		0.03			

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	■検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない □検討していない
見直しの内容など	平成31年3月に電算システム(図書館蔵書管理システム)の更新を行い、契約期間満了が令和7年2月28日となっている。今後、施設の改修等・システムの更新を含め、長期的な視点で改築等も視野に入れた検討が必要である。
今後の動向・市民ニーズなど	市民が利用する生涯学習施設として、環境整備及び情報拠点として利便性向上への市民ニーズがある。

5 事務事業の評価

	■結びついている □一部結びついている □結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	人口減少が続く中、市民1人当たりの貸出冊数は増加している。また、ホームページアクセス数も上昇している。
	□可能 □一部可能 ■不可能
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	市民ニーズに対応するため、郷土資料等のレファレンスや資料・建物の管理については長期的な展望を見据えて進めていかなければならないため、市以外が事業に取り組むことは難しく、施設新築段階においても民間での運営は難しい。
	□ある ■一部ある □ない
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	多様化する市民ニーズに対応するため、図書館電算システムの更新は不可欠であり、更新時には図書館利用者カードをマイナンバーカードやラインとの連携などにより、本の貸出・検索・予約することや返却・遅延・督促などの蔵書管理がスムーズになり、利用者の利便性が向上する。
	□ある □一部ある ■ない
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	図書館電算システムの更新と施設長寿命化のための修繕が事業の大半をしめているため、単位コストの減は困難である。
	□ある □一部ある ■ない
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	図書館整備という性格上、他の事業との統合の可能性はない。
	□ある □検討の必要性がある ■ない □既に負担がある
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	図書館無料の原則から、受益者負担の考えはない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	□現状のまま継続 ■見直しのうえで継続 (□拡充 ■手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (R 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了
--------	---

作成年月日

令和5年11月